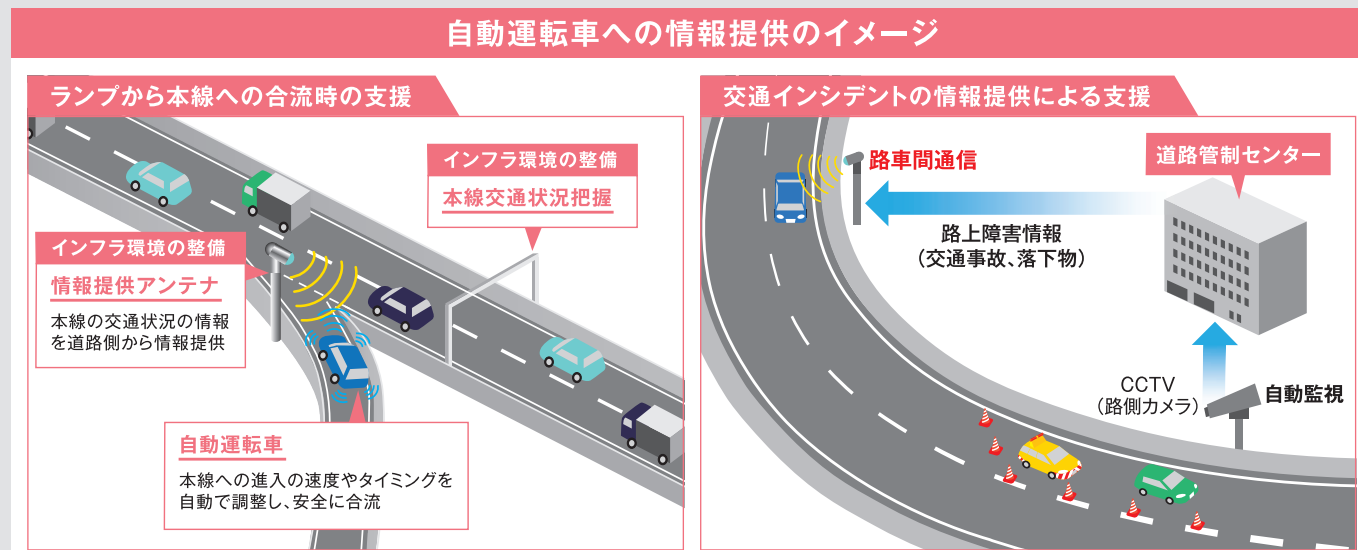
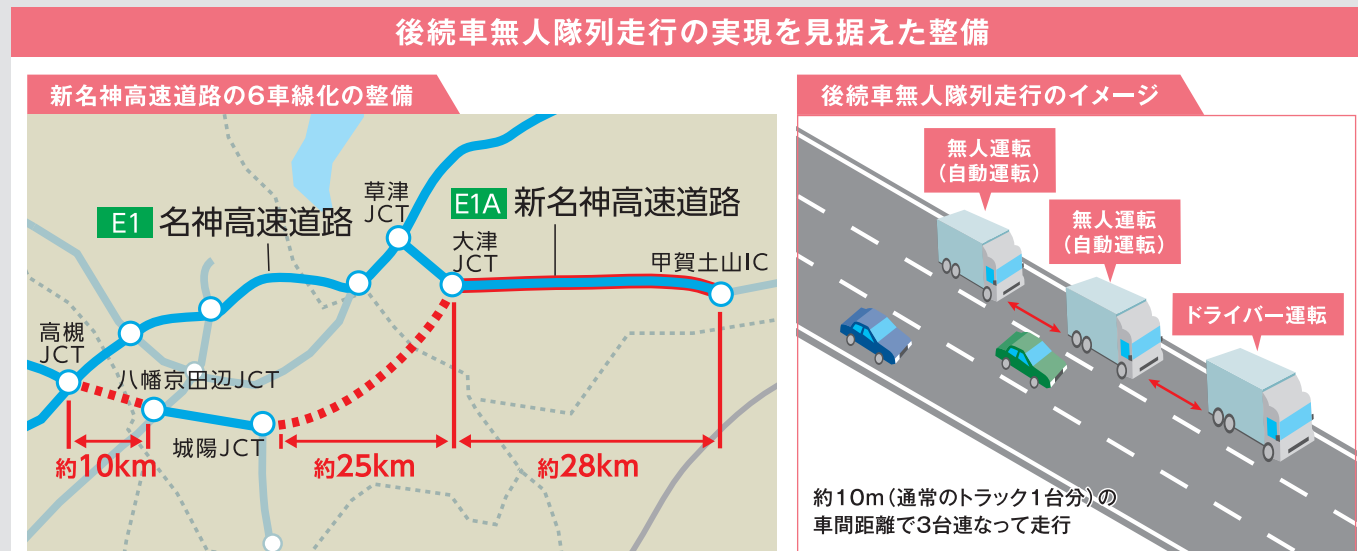


03 新しいモビリティ社会に向けて高速道路を進化させる

■ 高速道路機能の進化

新しいモビリティ社会の到来に対応する
新名神高速道路などの整備を推進します。

- 後続車無人隊列走行システム(東京～大阪間)の商業化などによる物流生産性の向上や、安全で円滑な走行空間の確保の観点から新名神高速道路の6車線整備を進めます。
- 自動運転等の技術革新に対応するため、必要なインフラ環境の整備に取り組みます。



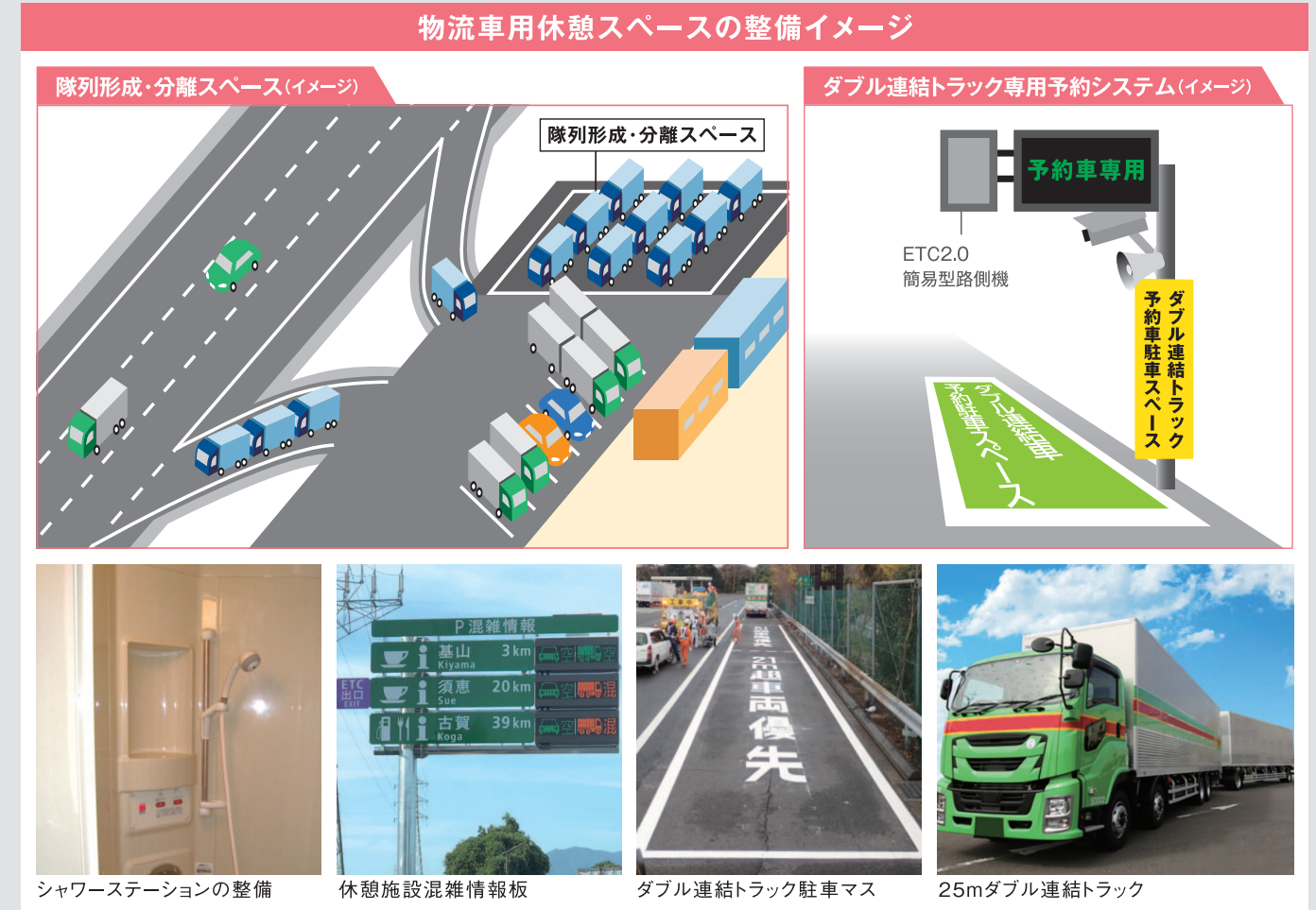
官民ITS構想・ロードマップ2020

- | | |
|-------------------------|----------------------------------|
| ●自家用車 | ●物流 |
| 2020年度にレベル3の自動運転の市場化 | 2020年度に後続車有人隊列走行システムの実証 |
| 2025年度を目途に高速道路でレベル4の市場化 | 2022年度以降に高速道路での後続車無人隊列走行システムの商業化 |

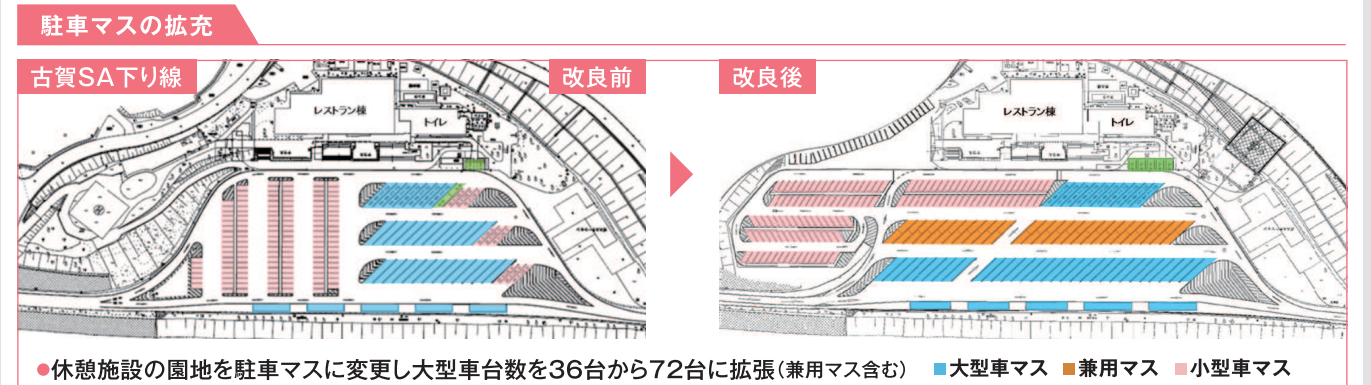
■ 物流支援 ～休憩施設の充実～

物流を支えるドライバーに必要な休息を提供できるよう
SA・PA駐車マス等の確保に努めます。

- トラック隊列走行やダブル連結トラック等に対応した物流専用休憩スペースの整備を進めます。
- 既存SA・PAの駐車マスの更なる拡充やシャワーステーションなどの整備を行います。



既存SA・PAにおける取り組み



01 高速道路の安全・安心を
いつまでも守り抜く

02 多発する自然災害から
地域と暮らしを守り抜く

03 新しいモビリティ社会に向けて
高速道路を進化させる

04 高速道路の
顧客体験価値を高める

05 持続的に進化する
企業を目指す